

# 会議録

令和3年7月28日

件名	令和3年度 第1回鹿児島市食育推進委員会	作成課	保健部 保健政策課
日時	令和3年7月(※書面開催)		
場所	—		
出席者	委員17名 (公募委員3名、学識経験者1名、消費者団体等の代表者2名、教育福祉関係団体の代表者4名、保健医療関係団体の代表者3名、農林水産業関係団体の代表者2名、食品関係者2名)		
市出席者	—		
会次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>議題</p> <p>(1) 第三次かごしま市食育推進計画 2年度実施状況・3年度実施計画</p> <p>(2) 第三次かごしま市食育推進計画最終評価について</p> <p>(3) 第四次かごしま市食育推進計画について</p>		
主な意見等	<p>議題</p> <p>(1) 第三次かごしま市食育推進計画 2年度実施状況・3年度実施計画</p> <p>(委員) 多くの取組があることを知らなかったなので、もっと市民が身近に感じられるように、情報を得やすいようにすると良いのではないかと。</p> <p>(事務局) 今後の取組を検討していきたい。</p> <p>(委員) 「ふれあい会食事業」や「訪問給食事業」のように、家に閉じこもりがちな妊婦や孤独を感じている、サポートが届かない妊婦への食生活向上のための取組があれば良いなと思った。</p> <p>(事務局) 今後の取組の参考にさせていただきたい。</p> <p>(委員) コロナにより見送りや中止としているものがあつたが、できる範囲で例えばZOOMなどを使って情報共有したりつながることができる良いなと思った。</p> <p>(事務局) 見送り・中止としているものも実施可能な範囲で実施するよう、検討しているところである。</p> <p>(委員) 市民の健康のためにももっと、オーガニック食材や地場産物が身近に手に取れる取組があれば良いなと思った。他都市では子どもの食育の一環で、オーガニックの農業体験があるようだ。多くの子どもたちが体験できると食べ物をつくる人に感謝の気持ちを持てるきっかけになると思った。</p> <p>(事務局) 本市でも地場産物のPRや農林漁業体験などを、様々な事業で実施している。今後も引き続き行っていきたい。</p> <p>(委員) 感染状況を考慮した中で、83項目の多様な取組が実行されたことは大変ご足労があつたことと推察する。3年度についても順調に実施されて市民の</p>		

食育の発展につながることを期待している。

(2) 第三次かごしま市食育推進計画最終評価について

(委員)「栄養バランス」について、野菜や塩などの摂取量を数値のみならず、市民に分かりやすい表現で考えることは、よいと思う。ぜひ、具体的イメージが付きやすい表現をお願いしたい。

(事務局) 今後の取組の参考とさせていただきたい。

(委員)「生活習慣病予防や改善」の分析結果で、若い時からの意識付けや取組が大切であると記されているが、同感である。「食から認知機能について考える会」の講演会で、おかずがたくさんある食事ほど認知機能低下リスクが抑えられるとの研究結果が報告されたようである。(国立長寿医療研究センターの長期追跡調査より)

様々な食材を用いた栄養バランスの良い食事が日本人にとって、認知予防に一定の効果がありそうだとのことであった。

(委員) 朝食を食べない人の割合の減少は、悪化している年代があるので、今後も普及・啓発の必要があるのではないか。

(事務局) おっしゃるとおりである。次期計画でも引き続き普及・啓発を行っていく予定としている。

(3) 第四次かごしま市食育推進計画について

(委員) 世界や国内でも学校給食をオーガニックのものへとする活動が高まってきている。子どもの健康維持はその後の医療費削減、健康寿命の延伸、これによる介護費の削減にもつながると言われている。計画の目標値に「学校給食におけるオーガニックのものを活用した取組等を増やす」等の比較も追加できると全国に先駆けてすばらしい取り組みができるのではと思う。

(事務局) おっしゃる通り、子どもの健康維持は非常に重要であると考えており、計画の中でも位置づけて取り組む予定としている。この健康維持とオーガニック食材との関連や、目標値については再度検討していきたい。

(委員) 目標値の「ゆっくりよく噛んで食べる人を増やす」の「ゆっくり」という表現は、ながら食べ、遊び食べなどだらだら食べるなどと混同され、誤解されやすい。「よく噛んで食べる」だけにした方が良いのではないか。よく噛めば自然と食事時間は長くなると思う。

(事務局) 「ゆっくり」を除き、「よく噛んで食べる人の割合の増加」に変更する。

(委員) 基本理念の文言はもう少しシンプルにした方が良いのではないか。「～生活できる活力ある～」は伝わりにくいかと思う。

(事務局) 食を通じて生き生きと生活を送ることで活力あるかごしま市の実現を目指すという意味で、「食を通じて健康で生き生きと生活できる活力あるかごしま市」という理念にしている。事務局としては、変更なしでいきたいと考えている。

(委員) 基本目標 1～3 各々の基本方針の順序が第三次計画と異なるのは何か意味があるのか。

(事務局) 現在検討中の案のため、順序についてもまだ意味づけをしていないところである。

(委員) 持続可能な食育の推進は、今後大事になってくると思う。

(委員) 基本目標 1 の中に「歯科口腔保健における食育の推進」が掲げられているが、鹿児島市が今後力を入れていくということか。

(事務局) 歯科口腔保健における食育推進は現在も実施しているものであるが、より歯科口腔の普及・啓発を図るために、基本方針として位置づけたいと考えている。